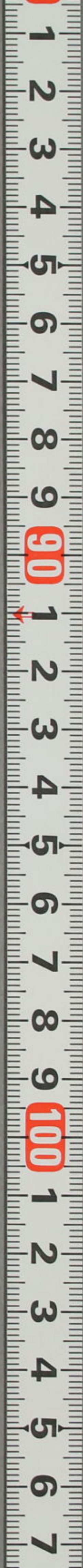




老子贅評

仁信  
1659  
3



門 仁 13  
號 1659  
卷 3

老子卷三

三

三

老子贅譯

三

扶杜園藏書記



*Faint, illegible handwritten text in cursive script, possibly bleed-through from the reverse side of the page.*

老子上齋

三

Handwritten signature in cursive script, likely reading 'H. H. ...'.

老子上齋譯三

崑山先生述

學孫伊勢

渥類長

校輯



知其雄守其雌為天下谿為天下谿常德不離復歸於  
嬰兒

雌雄ハカヲ以テ之ヲイフ谿谷ハ僻地ナリ天下  
迷トトメ大ニ乱レ雌雄ヲ中原ニ争ハ是輕シテ  
且躁ナリ故ニ雄ヲ知テ雌ヲ守リ重且静ナリ天  
下ノ隅谿谷ノ險ニ燕處超然トメ善閉善結シテ

易ニ居テ以テ命ヲ待ベシ公劉ノ邠ニウツリ大  
公ノ岐下ニ至ルニ十是ナリ是要妙ノ徳術事為  
ナリ  
常德ハ一徳ナリ中庸ノ徳ヲイフ嬰兒ハ氣ヲ專  
ニシ柔ヲ致シ邪慝ナクアヒ愛スルニ民无死ニ  
イタルマデアヒ往來セズノ居ヲ安ニシ人  
俗ヲタノシムヲイフ  
又谿谷ハ虚ニメ物ヲイルニ取雄ヲ知雌ヲ守  
リ虚ニメ物ヲイルバ天下之ニ往テ獸ノ墮ニ  
走ル如シ大祖ニ串夷載路トイフ是ナリ

○六句均摺首小節

知其白守其黑為天下式為天下式常德不忒復歸於  
无極  
白ハ明白四達スルニ黒ハ暗黒ナリ幽深ニメウ  
カバハレヌヲイフ谿谷ノ中シカリ故ニ中間ニ  
オク然レ爾然トメ日ニニ章ナリ不忒ハ慝ナキ  
歎ク暗黒ナレハ則チ无極然レ式ヲナセバ則チ有  
極有極ニメ復歸於无極是天ニ峻極スルニ  
○六句均摺中小節

知其榮守其辱為天下谷為天下谷常德乃足復歸於  
樸  
榮ト云バ殿富ナルヲシルベシ小ヲ谿ト云大ヲ  
谷トイフ天下又大ニ往ルベシ故ニ乃足ト  
イフ天下谿ト天下谷トテ中天下式ヲ夾テ式ヲ  
天主トスルヲ示ス復歸於樸ハ敦厚ノ俗成ナリ  
○六句均摺尾小節  
樸散則為器聖人用之則為官長故大制不割

樸散則為器猶杞柳ヲ戕賊シテ栝棗トスルガ  
如シ學校テ人ヲ造ライフ聖人用之ハ之ヲ試ミ  
用ルニ學テ優ナレバ則チ仕任テ優ナレハ則  
チ學フエハツイ官長卿大夫トナル又聖人之  
ヲ用レバ聖人モ亦之ガ官長トナリテ上帝ニ事  
ルエハ則トイフ  
大制ハ大饗ヲナスニ天下大ニ往ユヘシ以テ天  
下ヲ控制スルヲ微言スルニ不割ハ之ヲ彼ニ  
任スルニ樸ヨリ各散メ器トナル自ラ割メ器ヲ  
ナスニ是亦大制メ不割ナリ雄ヲ争テ自ラ榮トス

ルハ是小割スル也  
 〇四句均摺結小節右合テ二十二句ヲ前大節  
 様トス上ノ二十二句トテ中十八句ヲ聯夾ス此  
 天下草昧ノ時ライフ也  
 將欲取天下而為之吾見其不得已天下神器不可為  
 也為者敗之執者失之  
 天下草昧ニメ雌雄イマダ決セザルニ取テ之ヲ  
 為ント欲メ中原ニアヒ争ヒ人ヲ殺メ盈野盈域

一勝一敗シテツイニ取テナスベカラズ吾ハ則  
 千燕處超然トメ秦人カ越人ノ肥瘠ヲ合ル如シ  
 然凡天下ニナ往天下ニナユケバ敢テ取テ之ヲ  
 ナサズ重且靜ニメ之ヲ見テ止テヲ不得如ク之  
 ヲ无極ニ復歸スルノ也  
 天下ハ神ノ器ニメ人ノ器ニアラザレバ人カテ  
 ハナスベカラズ神ノ之ヲ祐ルニアル也  
 執者ニナカラテメ徳ヲ以テスルニアラズ故  
 ニ敗之失之ナリ徳ヲ以テセザレバ神モタスケ  
 ズ天モアタヘズ

○六句段遷均始小節上ノ六句トテ中ノ四句  
ヲ夾接ス

故物或行或隨或响或吹或強或羸或載或隨是以聖  
人去甚去奢去泰一

物ハ民ヲイフ為者執者神器トイフニウケテ物  
トイフ物或云々ハ変態ハカルベカラザルし或  
行或隨ハ之ヲ教誨スル以テ之ヲ信フ隨ハ後ル  
ハ弱シテ疲ルモノ也於是之ニ飲食セシム  
然レ或响或吹

強弱ハ資性ヲイフ強キモノハ行弱キモノハ後  
ル羸ハ弱ノ甚キし於是後車ニ命メ之ヲ載然レ  
亦或ハ隨難ト哉  
甚ハ甚行甚強キ之甚キモノハ必ス奢ルオゴル  
モノハ驕泰ナリ甚ヲ去雌ヲ守テ嬰兒ニ歸シ奢  
去辱ヲ守テ樸ニ歸シ泰ヲ去黒ヲ守テ无極ニ歸  
スベシ

○五句均摺終小節右合テ十一句中大節トス

林出言大軍外必成也其善哉果而西不嫌四頭等  
心並外入注法不亦其然天亦其律也聖明大所為



以道佐人主者不以兵強天下其事好還五師之所處荆棘生焉大軍之後必有凶年善者果而已不敢以取強兵ヲ以テ天下ニ強カラズメ道ヲ以テ天下ニ強シ然レ道ハ礼教ヲ主トメ改刑ヲ包レバ兵モ亦ソノ中ニツヨキユヘ其事トイフ又ソノ事為ライフ好還ハソノ事為ナリ往テラ不好ユヘ往ト不云好還ハ反テ之ヲ己レニ省シガヲタクワヘ勝ヲ決メ又往テアヘテ之ヲ一挙ニ決セズ以テ道ヲ強スルハ故ニ東征スレバ西夷ウラム曰ク何ソ我ヲ後ニスト此亦草昧ノ時ナリ是即子果

ナルノミシ  
處ハ長陳スルハ荆棘生スルハ田疇荒蕪スルハ  
ヘハ敵地ヲ主トメ之ヲイフ道ヲ以テ征スルモ  
ハハ彼民ヲ救タメシカルハ如是ハ不道ナ  
リ又艱險ニ阻人情疑生ジ讒言起ルヲ微言スル  
シ小軍ノ久キ猶如是況ヤ大軍ニ於ラマ  
大軍ハ彼モ我モ並ニ大軍ニメ且久キライフ是  
道均ク兵均シ一勝一敗丁壯ハ行役ニ罷レ老弱  
ハ轉輸ニ弊レテ死傷スルモノモ少カラズ故ニ  
ソノ後必ず凶年アリ上帝臨ズ水旱ヨモクイタ

ル是兵ニ強シテ道ニ強カラズ往テ好テ還テ不  
好不道ナルト甚シク好テ還テ不  
不戦シテ文ニ勝テ善ノ善ナルモ好トスルコトハ  
善戦者ト不云シテ只善者トイフ果ハ果速果毅  
ナリ好還テ道ニ強シ故ニ果ナリアヘテ強テ不  
取テ弱テ取雌ヲ守ルコトヘ反テ強シ大邦ハフ  
ノ強テ畏レ小邦ハフノ徳ニ懐ク取捨ハ撰ブ  
所アルニ由ル也  
○八句还摺夾首小節此人主ヲ依ル人道ニメ  
人主ノ道ニアラズ故ニ首ニカナラズ以道依

六

人主者トイフ  
下善士  
果而勿矜果而勿伐果而勿驕果而不得已果而勿強  
物壯則老是謂不道不道早已  
矜レハ士衆ハナル伐レハ功ヲ失フ驕レハソノ  
咎ヲ遺ス不得已ハ好還コトヘテ勿強ハ不取強ニ  
テラス徳ニ強シテ欲ルニ唯果ヲ尚シトスル  
コトヘテ每事必ズ果ヲイフ剖析シテ不得已ヲサシ  
物ハ士衆ヲイフ執テ之ヲ用ルコトヘテ物トイフ物

壯則老スルハ強メ且久キヲイフ勿強ト及ス不  
道ハ以道ト云ニ及照ス早已ハ士衆ハ十レ不虞  
起リ積年ノ業夕チマムライフ  
○八句均夾尾小節合テ十六句ヲ後大節トス  
上ノ十八句トテ中ノ二十二句ヲ聯夾ス茲以  
上合テ四十九句ヲ前小段トス  
道常无名樸雖小天下不敢臣侯王若能守万物將自  
賓

常ハ平生不知不識之ニシタガフライフ无名ハ  
恍惚トメ民ヨク名付ルナキハ樸ハユノ道ヲ  
行フ人ヲイフ孔徳ノ容コレハ樸ヲ主トスルユ  
谷ハ則ト不云未夕小國ト云レヌユハ只小トノミ  
天下不敢臣ハ或ハ客トシ或ハ師トスツイニ君  
トセントスルユヘ次直ニ侯王ト云テ故侯王ト  
不云以テ日ニ國ヲヒラク一百里ナルヲシメス  
侯ハ君トシ的トスルハ王ハ王者有スルハ侯王  
三十リテモ之ヲ守レハ万物自ラ賓夕ラント不

是我モ亦之ヲ臣トセズシテ賓トスルコトハ天下  
ニ於テ我ニ使ルハコトニユヘ万物トイフ是礼ヲ以テスル  
コト也○五句均夾前小節

天地相合以降甘露民莫之令而自均始制有名也亦  
既有夫亦將知止知止所以不殆譬道之在天下猶川  
谷之於江海

万物將自賓ハ天造草昧ノ時ヲイフコトニ  
ハ天地相合ト云テ君臣アリテ甘露ヲクダシ嘉  
一革新ニ革命ノ時ヲイフコトニ是命事徳事ニアツ

カルトコトハ甚之ヲ難言スル也君臣アリテ令徳沢  
ヲ降スコトハ天地モ感應アリテ甘露ヲクダシ嘉  
瑞休祥年ニ豊年ヲイフタスコト宜ナル哉  
民莫之令而自均ハ不言无為ノ化ナリ均ハ生産  
勞逸貧富貢賦ナドヲイフ我ヨリソノ道ヲ施シ  
彼自然ト均ガ如シ是速化ノ妙ナル也始制ハ礼  
樂制度ヲイフ有名ハ元名ニ反メ自然ト有之カ  
如キヲイフ天地万物小大尊卑自然ニ以然ガ如  
シ故名亦既有夫トイフ夫ハ嘆美ノ辭也  
名亦既有夫亦將知止トハ各ソノ名ニ由テソノ

実ヲフマントスルニ始ハマサニ賓タラントス  
今ハ臣タラントスルニ止ハ各ソノ止ル所ニ止  
ルニ人君トシテ仁ニ止リ人父トシテハ慈ニ  
止ノ如キ是ナリ必ズ將ニト云ハ天命自然ノ美  
ヲ示ス  
不殆ハ犯乱覬覦ノ憂ナキニ是道ステニ天下ニ  
流布スルニ川水若クハ川流ト云ニテ川谷ト  
イフハリノ源ヲイフニ水ノ昼夜ヲ不舍ハ常ナ  
リスデニ江海ニ入ハ是谷水カ是川水カハ止  
ズ无名ナリ是首ノ道常无名ニ應スルニ此至治

靖平ヲイフ

○九句夾摺後小節右合テ十四句ヲ首大節ト

知人者知自知者明勝人者有力自勝者強知足者富  
強行者有志不失其所者久死而不亡者壽一  
道ヲ天下ニ在ニタル人ヲ知テ之ヲ用ルニ在  
ユヘ之ヲ接ス自ラ知テ明ナラザレハ以テ人ヲ  
知バカラザルユヘ中庸ニモ取人以身修身以道  
トイヘリ此文ハ虞夏ノ知人則哲克官人トイフ

ヲ述ルし是学テ道ヲ明シ身ヲ修テ人ヲ知ヲ  
イフ也  
ツトメハゲミテ徳ニスルム人ト勝負ヲ争フ  
如キユヘ譬ヲ取ナリ勝人者有カトハ吾カ人ヨ  
然リマサルトアルユヘシモシ人ソノカ吾ヨリマ  
サルトアレバ吾之ニ勝ト不能シカレハ未夕強  
トイフベカラズ  
人ヲ知モ亦如是ソノ徳吾ヨリマサル人ハ吾之  
ヲ知ト不能シカレバ人ヲ知トイフベカラズ自  
ラ知自勝ト明ニメ且勉強セザルベカラズ知

足ハ公子荆ガ苟合苟完苟富トイフコレハ邦家  
ヲ治モ亦如是  
強行ハ徳行ヲ強ルし有志ハ天下後世ニ志アル  
し不失其所者ソノ信ヲ不失ナリ久ハ天長久地  
久キカ如シソノ人ハ死テモソノ道ハ後世ニ傳  
リ猶ソノ人存スル如キユヘ壽トイフ大雅ニ於  
林乎前王不忘トイフ是ナリ此文毎句者トイフテ  
六一級一級スルムヲ示ス此ハ人君人ヲ得テ共ニ  
事ヲ行フ内術ナリ  
○右ハ句均錯夾摺前大節トス

大道汎兮其可左右万物恃之以生而不辞功成不名  
 有愛養万物而不為主  
 大德ナラサレバ大道不凝ニハ之ヲ接ス汎濫下  
 ヲ江海ノ如シ左右ノ人ユク所ノ之ハ民ノ利  
 スル所ニ因テ之ヲ利スルヲイフ天地万物ニ  
 於ル如キエハ万物トイフ功成テ身退ルハ不  
 名有テ之ヲ愛養シテツイニ峻極于天スルエ  
 ハ不為主トイフ不辭ト不為主トハ我ヲ以テ之

ヲイフエハ而トイフ不名有ハ彼ヲ以テ之ヲイ  
 フエハ而トイフズ○五句均掲还夾首小節  
 常无欲可名於小万物歸焉而不為主可名為大是以  
 聖人終不為大故能成其大  
 无欲ハ不辭不為主シテ万物ヲナスヲイフ然レ  
 万物ヲ愛養シテ万物ノ沢ヲ不蒙ハナキエハ  
 可名於小トイフソレ如是エハ万物ニテ歸ス然  
 レ之ガ主ヲラズ是ヲ上帝先祖ノ徳トス故ニ可  
 名為大唯天ヲ大ナリトス唯聖人文ニ則ルノミ

○五句摺夾还尾小節右合十三十句ヲ始大節ト  
執大象天下往二而不害安平泰樂与餌過客止一  
大道ノ記タルハ大象ヲ執エヘシ天地ニ象リ君  
臣アリ合礼樂教化ヲ行フヲイフニ万物帰スル  
萬民ヲイフ天下往ハ諸侯大夫ヲイフ万民帰  
メ諸侯往バ業ヲ創メ統ヲ垂ヘキエヘ上ニ聖人  
トイハ成其大トイフスデニ其大ヲ成テ大象ヲ  
執ハ天下ヲ三分ニメソノニヲ有ツ如キ

往而不害ハ大制シテ小割セザルシ安平泰ハ无  
為不言ナリ樂声ハ聞ヲヨロコビ餌味ハ味ヲ喜  
エヘ行道ノ人モ之ニ止ル声色ノ民ヲ化スルニ  
於ルハ末ナリ是安平泰ナラザルニ  
○六句夾均始小節

道之出口淡乎其无味  
口トイハ味トイフテ餌ト云ニテラシ懈ト云テ  
樂トイフニ接ス此天下往朝聘ノ時辞氣ヲ出シ  
容貌ヲ勤スヲ微言スルニ无味不足見不足聞不



亦既ハ安平泰ナルコトハナリ故ニ安平泰ハ孔徳  
ノ容トソノ風俗トライフニ  
彼之ヲ味フニ淡トメ味ナキユヘ我口輔容貌ヲ  
ミルユヘ次視ライフ不足視ハ夷ニメ且撲ナル  
ユヘシソコデ又耳ヲ傾テソノ口ヨリ出ルニキ  
クニヤハリ之ヲキクニ不足是希ナルユヘシ之  
ヲ味コ之ヲ視聴シ反復丁寧ニスルハ是修学ヲ  
含テ之ヲイフニ  
周頌ニ有来顛ハ至止甫ニ相維辟公天子穆トト  
イフハ諸侯来朝シテ天子ノ祭ヲタスクルニ右

祭ヲタスクルハ勿論朝覲ノ儀式トテモ各ソノ  
國ノ学校デ修礼シテ又朝メ天子ノ学校ニテ修  
礼スルユヘ振鷲干飛干彼西顛我容戾止亦有斯  
容トイ、大雅ニモ濟ニ辟玉左右奉璋奉璋戔、  
髦士攸宜トイヘリ此方ノ小笠原ノ諸礼ヲ修礼  
スル如クスルニ  
ソレユヘコ、ニ道之云ニトイフハ先学校デ修  
礼シテ大師若クハ先輩ノ説トコロノ聴聞スル  
ヲ以テ之ヲイフニサテ後ニ朝覲メ天子及公卿  
ノ辞気容貌モ同シトシ又ソノ客館ハ公卿大夫

士ナド来テ進退應對スルモ同じトシ  
サテ此道ガチニ入テ之ヲクノ國ノ人民ヘ試  
用ルニナンボデモ最早手ガツキタトイフハ  
トントナキニ既ハ日月ノ食ノミナカ、ルヲ皆  
既トイフト同シ意ニラクラクナリテ何事モデ  
キヌシ  
コノ文化礼樂制度ガ不立バ無骨ニリキミテ安  
平泰ノ代トハテラヌエハ武ヲ偃文ヲ修ルガ所  
要ナリ  
○五句摺均終小節右合テ十一句ヲ終大節ト

ス安平泰トイフテ約語短句テ之ヲ断ト次ハ  
樂餌反類ノ二句エハ句法ヲ合テ接ニ括ス次  
ハ又道之云トイフテ安平泰ニ復ス断續ノ  
妙味ベシ  
又必ス安泰ニ接スルニ樂餌ヲ以テスルハ以  
以テ天下スデニ朝聘嘉會シ饗燕ヲタマヒ樂  
ヲ奏スルエハ愚知无知ノ過客行道ノモノモ  
ソノ安平泰優美ノ事ニ感服メ止テ見聞スル  
ヲ微示スルハ然レハ總結ノ用之不可既ノ  
美ハ過客モ感服スルトイフ意ヨリ生ズル

ソレユヘ道之ノ四句ハ安平泰ノ極意徳術ノバ  
ラ微言ニテ結句ハソノ用法ノ妙処ナリ老彭ノ  
文千歳ノ後ソノ入ヲ見ガ如シ

將欲歛之必固張之將欲弱之必固強之將欲廢之必  
固與之將奪之必固與之是謂微明

天下ニナ帰往スレモ又後夫ナルモノアリ三苗  
桀紂ノ如キ是ナリ易ニ曰後夫凶ナリトハツイ  
ニ自滅スルヲイフ天ニ逆ヲ以テ人ユヘシカ

レ臣我ハ天命明威ヲ畏シ民ヲ恤ヲ主トスルユ  
ヘソレヲシテ暴虐ナサシメ民ヲ害スルヲミテ  
ハオラレヌユヘ必ズ翁弱廢奪スル

成湯ノ兼弱攻昧取乱侮亡固存葛及ヒ  
昆吾夏桀ヲ征シ及ヒ文王ノ密崇ヲ伐ガ如キハ

兵家ノ陰謀ノ如キヲイフニハアラス寛柔ニメ  
ミ合セオル

以テ考フベシ固ハモトヨリト訓ジテ要害堅固  
コ、ニ必固トイ、微明トイ、柔勝剛トイフヲ

二我ヲカタメテ  
 隆ニト高明ヲ以テハリ不令レバラク隱微ニシ  
 テナル  
 以ノ中ニハ民怨ミ天怒テ水旱災害ウチツキ  
 暴虐マヌク甚シクナルエ止テ不得之ヲ翕  
 弱廢奪シテ民ヲスクニ渠魁ヲ殲シ舊染汗俗モ  
 咸ク与ニ惟新ナルニ歛ハ翕ト同ジソノ邦ヲ合  
 スナリ  
 欲弱之ハ強暴ノ邦ヲイフソノ弱ニ及フヲ待テ  
 亦之ヲ翕スハ弱ニ及ブハ凶年ツダキ士衆ハナ

一貪弱ニメ立テ不能ナリ是我之ヲナスニナラ  
 ズ自ラ強禦暴惡ニメ天ノ怒ニ逢ナリ故ニ是ニ  
 ナ之ヲ天ニ任セミテオル  
 廢奪ハ昧乱ノ邦ヲイフ  
 節節トス  
 柔勝剛弱勝強魚不可脱於淵國之利器不可以示人  
 上ニイフ所ハ柔弱ナルヤフナレトツイニ強剛  
 ニ勝エヘユノ二句ハ微明ニ接メ之ヲ叙ナリ魚  
 ハ陰物ニメ捷巧ナルモノエハ強剛ニメ急ニ之

ヲ捕ントスレバ必ズ脱レテ淵ニカクルレバト  
シト之ヲトルベカラズ昧乱ノ小人モ如是  
リレユヘ之ヲトランセバ天晴日暄ニシテ鳧飛  
魚躍ルノ時ヲツト之ヲトレバムゾフサニ午ニ  
入ナリ是亦カスカニ過客止トイフニ照シテ剛  
強ニ兵革ナドヲ不用文徳ヲ修テ之ヲ来スラ微  
言スルニ七句ニシテ有苗格ナド是ナリ  
國之利器ハ兵革ヲイフ兵革ハ暴客ヲ禦テソノ  
國ヲ守ルモノニ輕クシク躁テ魚ノ如キ小物ヲ  
敵トメ之ニ示シ當ベカラズ天地ノ間ヲ域中ト

十七

スレバ淵ニ潜ム氏何ヲ畏レ唯文徳ヲ修テ鳧飛  
魚躍ル泰平ノ時ヲ致シテ以テ之ヲ来スベシカ  
ラ以テ争フベカラズ  
○五句均摺夾後小節右合テ十四句ヲ尾大節  
トス首大節十四句ニ合セテ中ノ三小節合テ  
二十九句夾ム

道常元為而无不為侯王若能守万物将自化而欲  
作吾将鎮之以无名之樸无名之樸亦将不欲不欲以  
静天下将自定

此前十接シ又道常无名及<sup>十八</sup>為而无為ニ應シテ  
上篇ヲ終ル之上ニ道常无名トイフハ樸ニメ小  
邦人時ヲイフサテソレヨリ自知自勝知足テ富  
ニイタリ又大道大象万物帰シ天下往微明柔弱  
ニシテ剛強ニ勝ニイタルマデ皆常无為而无不  
為ナリ言大者十四句合中六三句合微  
然トイハレ猶天下ヲ三分ニシテソノニヲタモ  
千謙翼シテ侯王ニ処スルニハ必ず又侯王トイ  
フニ又乾坤ノ次ニ屯難ノ卦アリテ天下ニ統  
人後トテモ蠢タル殷ノ小腆三監ノ如キトアル

モノニハ前節此節之ヲ含テ之ヲイフハ  
ソレニハ侯王ハ王者ノ方方ノ表正トナルヲ微  
言スル也王者トナレバ矜伐驕泰ニナクヤスキ  
モノニハハコニ再ビ若能守トイフテ之ヲ警ル  
ナリ言大者十四句合中六三句合微  
上ハ万物將自賓トイフコトハ將自化トイハ  
又化而欲作ト云是マスキスハハニサテ上ニ万  
物作而不辞生而不存トイフニハ  
將鎮之以无名之樸トイフ即千常无名而樸ナル  
ニ是不辞不有ノ徳術ナリ此ニ十前後アヒ照シ

テソノ説ヲ全スルニ  
 今天下草昧ノ時ユヘ化シテ作シト欲ルニハ亦  
 大偽ノ変モアルトユヘ鎮トイフ之ヲオサヘシ  
 ズメルニ元名ノ樸モ亦孔徳ノ容アルユヘ又大  
 偽ノ恐アリ故亦將不欲トイフニ万物モ天下ニ  
 モ並將自トイフハ天命之ヲ祐ルヲ示スニ  
 凡ソ此文ハ天命ニ從フ以之ヲイフユヘ之ヲ畏  
 レ之ヲ慎ミ前文ヲ反復シテ思フ修テ難言スル  
 ヲヘ以静トイフ亦静之徐清トイフニテラスニ  
 守静萬静為深君トイフモ之ニ包ス彼此相考ヘ

テソノ事為ヲ知シムルニ  
 不欲ハ无欲觀其妙トイフ、无欲可名於少トイフ  
 ニ應シテ上篇ヲ終ルニ孔子モ知者ハ動ク仁者  
 ハ静ナリトノ玉ヲ静ヲソノレアゲトスルニ天  
 下一統スルニ三代マデハ色ニト騷動ノ事アル  
 モノユヘ唯静ニメオノヅカラ定ルヲ主トスベ  
 キヲヲイフニ  
 ○右十句ヲ結大節トス上ノ大節十句トテ中  
 ノ二節合テ二十五句ヲ聯夾ス 而无ノ句ト  
 化而ノ句ト而ノ字アニ照テ二句ヲハサミ

道常ノ句ヲイタゞクニ  
 又化而ノ句ノ次ニ吾将ノ長句ヲ作テ  
 物ノ句マデ摺シカサ子ルハ是句法ヲ以鎮之  
 ノ意ヲ示ス此二句ヲ一意トス 又化ト化  
 ト合セ无名之樸无名之樸ト聯子用テ法ヲ合  
 不セテ聯属スレ下ノ无名之樸ト亦将不欲ト  
 二句一意トシテ之ヲハナレ  
 又不欲ト不<sup>接</sup>属シ以静ト以无名トア  
 照シ天下将<sup>万物</sup>ト應ズ是化ト不<sup>接</sup>属ト  
 テ无名之樸无名之樸ヲハサミ万物将ト天下

将トデソノソトヲハサム  
 又上ノ四字ノ句二句ト下ノ四字ノ句二句ト  
 デ中ノ四句ヲハサム 又将ハ之ヲ催ス  
 欲ハ之ヲ決スルコトバシリユハ万物将ト  
 吾将トデ欲作ヲハサミ次ハ将ト欲トヲ令セ  
 テ将不<sup>接</sup>属トイフテツイニ特リ不<sup>接</sup>属ト用テ之  
 ヲオサムルナリ  
 又静ハ即チ元為ナリ是首尾アヒ照スニ又首  
 二句ハ我ヲ主トス次二句ハ我ト彼トヲ以之  
 ライフ此四句デ一タビ断ズ然レ又化ト化ト



デアに續スサテ化而ノ二句ハ彼ト我トテ之  
 ライフエへ此二句テ又一断ス然レ又无名之  
 樸无名之樸トアに續ス  
 サテ次ノ二句ハ我ヲ以テ之ヲイフ結二句ハ  
 我ト彼トヲ以テ之ヲイフサテ又本天下ノ定  
 一トヲ欲ルレシニ不欲以静トイフ是不欲  
 ヲ以テ之ヲ欲ルレ是徳術機密ノバシヨシリ  
 レユヘ无欲ト不云シテ不欲トイフハ  
 将レ不欲ハ虚用ナリ不欲以ハ实用ナリ両句ノ  
 アニダ虚実轉換ス玩ベシ又上ノ不欲ハ无名

ノ樸ヲ不欲ナリ下ノ不欲ハ次ノ天下ノ字へ移  
 トシテ又天下ヲ不欲ナリ必竟上文ノ貴以身  
 為天下ノ意ナリ  
 又无為ト无名之樸ト不欲ト静トハ我道トスル  
 所ナリ將自化ト欲作ト將自定トハ民ト天ト  
 ノナス所ナリ能守ト鎮之ト以静トハ我事為ナ  
 リ當時即チコノバシヨエ最モ字法ヲ精密  
 ニシテソノ微意ヲ含メシ  
 名ノ樸ヲ以テスルハ朝廷宗廟ソノ位ニ居ラ  
 以テ之ヲイフエへ格別ノ長句ニシテ之ヲ眼目ト

スユレヲ隔句法トイフ猶畏ル、所アルユハ不  
 欲以静ヲ以之終  
 凡ソ古人ノ文章ミナ如是字法句法断續應照段  
 節句而聯牽ノ法アルヲ猶四時錯行シテ百物生  
 スル如ナルユハ天地ト共ニ元窮ニ傳テ賢者ハ  
 ソノ大ナルヲシリ不賢者ハソノ小ナルヲ喜テ  
 之ヲ尊バザルヲナシ  
 是故ニ凡ソ聖人君子ノ言ハ死シテ不亡壽ナル  
 モノトシカルニ此篇ナド老子没後之ヲ知ラナ  
 キハミナユノ文法ヲ不知ユハ或ハ老莊老佛

ナド、稱メ章ヲ分テチギシクノモノトナスハ  
 悲ヒ哉之ヲ不知バ詩局聖人君子ノ徳術事為ラ  
 不得ハ宜ナリ



